

2019年度 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善計画書

当院では、看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資することを目的とする計画を策定し、これに基づき以下の取り組みを実地しております。患者さま、ご家族の皆さまにも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

現状・問題点	対応方針	具体的な計画	達成状況 2020年3月
患者間違いのインシデントがある	リストバンドが消えやすく活用されていないため業務の見直しを行う	印字式のネームバンドを購入し活用する	
入院時における業務が多い	入院セットの説明とネームバンドの作成を医事課で行う	即実行	
外来の導線が長く効率が悪い	外科診察場所を内科診察へ導線移行	外来患者さんの推移をみて検討する	
ミトン手袋の洗濯業務が多く負担である	洗濯業者に依頼する	選択業者と交渉し、洗濯回数など協議・検討する	
手指消毒による手荒れ者が発生している	アルコールフリー手指消毒剤購入検討し手荒れを防止する	感染委員会に掲げ対象者をピックアップし提供できるようにする	
アルコールによる環境整備の準備に手間がかかる	容器入りのアルコールクロス購入検討	試算をだす	
記録記載が多い	記録記載の軽減	書類の見直しと凝縮 (病棟日誌・フローシートなど)	
病室のロッカー配置により部屋が狭く感じ、また外の景観を遮る	不要なロッカーの撤去 収納式床頭台へ変更する	現状把握し検討する	
手動ベッドを使用している病室がある	電動ベッド購入	患者推移を加味し適正な購入に向け予算に組み込む	
委員会の定期開催	病棟間・他部署での情報共有 他部署との業務の連携調整	各委員会などで、情報交換を行い協力体制を図れる様調整する	